SHARP

保証書付

取扱説明書（基本編）

16ch ネットワーク・ビデオ・レコーダー

形名　　YC-R162C

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
この取扱説明書はいつでも見ることができる場所に必ず保存してください。
取扱説明書（操作・設定編 [別冊、web 参照]）、及び、ソフトウェアは下記 URL よりダウンロードすることができます。
http://www.sharp.co.jp/business/security-camera/

もくじ

1. はじめに 3
2. 安全にお使いいただくために 7
3. 取り扱い上のお願い 15
4. パネル概要 18
4.1 前面パネル 18
4.2 背面パネル 19
5. 設置と接続 20
5.1 設置 20
5.2 接続 20
5.2.1 アラーム入力の配線 20
5.2.2 アラーム出力の配線 21
5.2.3 アラームの接続 21
5.3 HDD 容量計算表 22
6. メニュー操作 23
6.1 NVR の起動 23
6.2 NVR のアクティベーション 23
6.3 ロック解除パターンによるログインの設定 25
6.4 システムへのログイン 26
6.5 セットアップウィザードによる簡単な基本設定 27
6.6 ネットワーク設定 28

6.7 IP カメラの追加 29
6.8 ライブビューの開始 31
6.8.1 デジタルズーム 32
6.8.2 パノラマ表示（魚眼画像拡張機能） 33
6.8.3 3D ポジショニング 34
6.8.4 キャプチャ 35
6.9 HDD 冗長化の設定 36
6.10 POS 機能（未サポート） 38
6.11 録画およびキャプチャの設定 39
6.12 再生 41
6.13 システム操作 42
6.13.1 ログアウト 42
6.13.2 NVR のシャットダウン 42
6.13.3 NVR の再起動 42
7. Web ブラウザによるアクセス 44
8. 主な仕様 48
9. 保証とアフターサービス 50
10. 製品保証書 52
11. お問い合わせ窓口

1. はじめに

製品概要

本製品は、6TB のハードディスクを 2 台（合計 12TB）内蔵した､H.265 対応 16ch ネットワーク･ビデオ･レコーダー(NVR)です。
２台の内蔵ハードディスクを使ってデータを冗長化することができます。
【付属品】マウス、LAN ケーブル、電源ケーブル

取扱説明書について

本製品の取扱説明書は以下のような構成になっています。

- 取扱説明書 基本編（本書）：安全上のご注意、使用上、設置上のお願い事項について記載されています。
- 取扱説明書 操作・設定編：本製品を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載されています。

商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名･商品名は、各会社の商標または登録商標です。

著作権について

- 本製品に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正、あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

個人情報保護について

- 本製品を使用したシステムで撮影された個人を識別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適切にお取扱いください。
- 本製品を使用して記録された情報内容は、「個人情報」に該当する場合があります。本製品、または記録媒体が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合には、その取り扱いを充分に注意してください。

ネットワークのセキュリティについて

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で十分に行ってください。
セキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上のやむを得ない事情によりデータ漏えいなどネットワークのセキュリティ上の問題が発生した場合、それによって生じたあらゆる損害に対し、弊社は一切の責任を負いません。

（対策例）

- ファイアウォールなどで安全性の確保されたネットワーク上で本製品を使用する。
- ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。パスワードは定期的に変更する。
- パソコンが接続されているシステム上で本製品を使用する際は、コンピューターウィルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

プライバシー・肖像権について

本製品の設置およびご利用につきましては、お客様の責任で被写体のプライバシーの保護や肖像権などに十分配慮してください。被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求やクレームなどに関し、弊社は一切の責任を負いません。

その他

- 本製品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。本製品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 本製品や記録メディアの故障もしくは不具合などにより録画ができなかった場合、これにより生じるお客様の損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品の故障や不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによるお客様の損害、被害について、弊社は一切の責任を負いません。

- 記録メディアや外部ストレージなどに記録されたデータの消失および付随的損害（営業損失などの補償）などについて、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、弊社は一切の責任を負いません。
- 付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。
- 海外では使用できません。本機を使用できるのは日本国内だけです。
- 本機は屋内使用専用です。

2.　安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 危険	人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠ 注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

図記号の意味は以下の通りです。

禁止	してはいけないことを表しています。
分解禁止	分解してはいけないことを表しています。
指示	しなければならないことを表しています。

⚠危険	
禁止	高温になる場所（直射日光が当たる場所、暖房設備、ボイラーなどのそば）に設置しない 内部の温度が上がり、火災・やけど・けが・感電の原因となります。
分解禁止	改造や分解をしない、お客様による修理はしない 火災・感電、けがの原因となります。

⚠警告	
禁止	電源コードを傷つけない、引っ張らない、無理に曲げない、本機や重いものの下敷きにしない、加熱しない、加工しない、また、熱器具に近づけない 電源コードを痛め、火災や感電の原因となります。
禁止	クリップやピンなどの異物を機械の中に入れない 火災や感電の原因となります。
禁止	ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。

 禁止	ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所で使用しない 腐食性ガス（二酸化以降、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境で使用しない 火災の原因となります。
 禁止	可燃性ガスが発生する場所では使用しない 爆発によるけがの原因となります。
 禁止	本機に水がかかるような場所に設置しない、ぬらさない 火災や感電の原因となります。 本機の近くに花びんなど、水の入った容器を置かないでください。 風呂やシャワー室では使用しないでください。 エアコン等、水を排出する機器にも注意してください。
 禁止	荷重に耐えられない場所や不安定な場所には設置しない 落下によるけがなどの原因となります。
 禁止	航空機、原子力設備、生命維持にかかわる医療機器などの高度な信頼性を必要とする設備への組み込みや制御などを目的とした使用はできません
 禁止	強度の電磁放射線に当てない 故障の原因になります。

 禁止	次の機器の近くには設置しない ● 医療用電気機器 ● 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器（火災報知器など） 電波により医療用機器、電子機器の動作に影響を与え、事故の原因となります。
 指示	工事をお買い上げの販売店に依頼する 工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。
 指示	定期的な点検、修理をお買い上げの販売店に依頼する 火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。
 指示	発熱したり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異音がするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。
 指示	機器を落としたり、キャビネットを破損したときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。
 指示	内部に水や異物が入った時は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

	そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。
 指示	電源は、正しい電源電圧のコンセントを使用する 付属の電源コードは AC100V 用です。指定以外の電源を使用すると、火災や感電の原因となります。
 指示	アースを接続する アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。 本機の電源プラグはアース端子付き 2 ピンプラグです。アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。
 指示	雷が鳴り始めたら、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 火災や感電の原因となります。
 指示	電源プラグの刃や刃の付近に、ほこりや金属物が付着しているときは、電源プラグを抜いて乾いた布で取り除く そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
 指示	動作時は適切に換気する 換気が不十分だと、故障の原因となります。
 指示	輸送時は元々の梱包材か、同等のもので梱包する 輸送中の故障の原因となります。

⚠注意	
禁止	硬いものでこすったり、たたいたりしない 破損してけがの原因になることがあります。
禁止	本機の温度が高くなる部分に長時間触れない 低温やけどの原因となることがあります。
禁止	電源コードは、タコ足配線しない タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
禁止	本機を逆さまにしない、本機の上にものを置かない 熱がこもり、発熱や火災、故障の原因となることがあります。
禁止	ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かない、強い衝撃や振動を与えない 落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。
禁止	風通しの悪いところに置いたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしない 通風を妨げると内部に熱がこもり、故障や発熱、発火の原因となることがあります。

 指示	電源コードは、必ず付属または指定のものを使用する 付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。
 指示	通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除く 通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火・故障の原因となることがあります。 内部に入ったほこりの清掃はお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。 （内部の清掃費用については、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。）
 指示	火災や感電を防ぐために、次のことを守る ・ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。 ・ お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・ 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがぐらついているときは、使用をやめてお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 指示	本機近くのコンセントを使用する、電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する

 指示	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。
 指示	周辺機器の接続や切断を行う場合は、本機の電源を切ってから行う
 指示	内蔵バックアップ電池は同一形名または同等品と交換する ・ 異なる型の電池を使用すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 ・ 交換は必ず販売店に依頼してください。

3.　取り扱い上のお願い

長時間安定した性能でお使いいただくために

高温･多湿の場所で長時間使用および保管をしないでください。部品の劣化により寿命が短くなります。
また、直射日光が当たる場所で使用しないでください。
設置場所の放熱を良くしたり､暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。
停電対応として､無停電電源装置との併用をご検討ください。

HDD について

- 本機はハードディスクを記録媒体として内蔵する精密機器です。パソコンと同様に、ハードディスクは壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。ハードディスクの動作（書き込み、読み出し）中に振動を与えると、記録データの消失や故障の原因になることがあります。
- 電源を入れたときや電源を切った直後は HDD が動作中です。移動や設置作業は絶対にしないでください。
- HDD に記録された情報内容は、万一、消失しても故障や障害の原因に関わらず、弊社は補償いたしかねます。
- HDD は消耗劣化する部品です｡消耗劣化が進むと書き込みエラーなどが発生しやすくなります。その後、ヘッドやモーターの劣化などにより寿命となります。
- HDD は使用環境により寿命が異なります｡大切なデータが壊れないように、機器の周辺温度を 25℃程度に保つことをおすすめいたします。
- HDD に異常が発生した場合は､すみやかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

内蔵バックアップ電池について

- 内蔵バックアップ電池の寿命が過ぎると、内部時計の時刻がずれたり、各種設定履歴が消失したりします。また、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。
- 内蔵バックアップ電池を交換する場合はお買い上げの販売店に相談してください。

動作中に不意な電源の切り方をしないでください

本機は精密機器です。必ず適切なシャットダウンの手順に従って電源を切ってください。ハードディスクの動作（書き込み、読み出し）中にコンセントから電源プラグを抜いたり、本機から電源コードを抜くと、記録データの消失や故障の原因になることがあります。

使用するモニターについて

モニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

長時間ご使用にならないとき

長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露（つゆつき）について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください。）

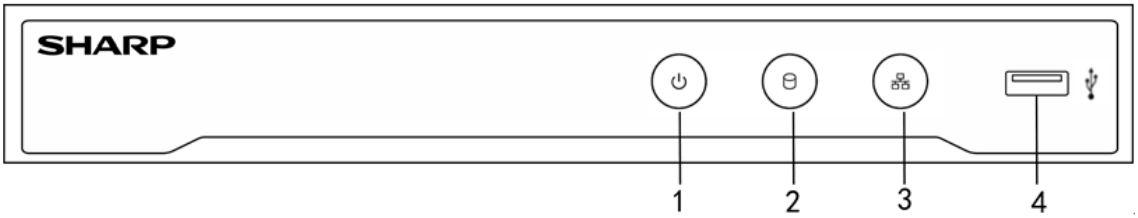
VCCI について

この装置は、クラスＡ機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

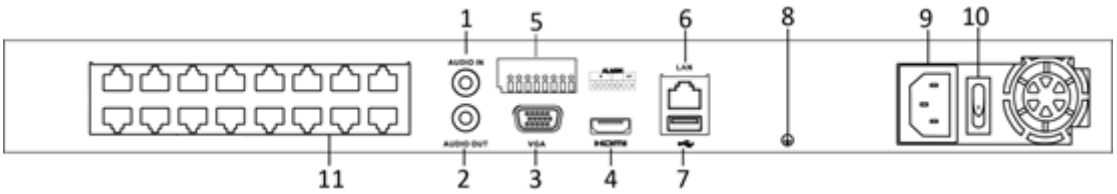
4. パネル概要

4.1 前面パネル



番号	名前	説明
1	電源 LED	NVR の電源が入っている時は緑色に点灯します。
2	HDD アクセス ランプ	HDD のデータを書き込む間やそこからデータを読み出す間、赤色に点滅します。
3	Tx/Rx 送受信結果	ネットワーク接続が正常に機能していると、緑色に点滅します。
4	USB インタ ーフェイス	NVR を操作する USB マウスや USB ハードディスクドライブ（HDD）などの周辺機器を接続するためのユニバーサルシリアルバス（USB2.0）ポートです。

4.2 背面パネル



番号	名前	説明
1	オーディオ入力	オーディオ入力用の RCA コネクタです。
2	オーディオ出力	オーディオ出力用の RCA コネクタです。
3	VGA インターフェイス	VGA 出力用コネクタです。
4	HDMI インターフェイス	HDMI ビデオ出力コネクタです。
5	アラーム入力	アラーム入力用コネクタです。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタです。
6	LAN ネットワークインターフェイス	本機をネットワークで使用するときには LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルはシールドタイプを使用します。 10/100/1000 Mbps 自動認識型イーサネットインターフェイスが１つ装備されています。
7	USB インターフェイス	NVR を操作する USB マウスや USB ハードディスクドライブ（HDD）などの周辺機器を接続するためのユニバーサルシリアルバス（USB 3.0）ポートです。
8	接地端子	アース線を接続します。（NVR 起動時に必ず接続してください。AC コード・アースのいずれかを必ず接続してください。）
9	電源	100 VAC 電源です。
10	電源スイッチ	機器の電源を on/off するスイッチです。
11	PoE 機能付ネットワークインターフェイス	カメラ用ネットワークインターフェイスで、イーサネット経由で電力を供給します。

5.　設置と接続

5.1 設置

NVR の設置作業では、以下の点に注意してください。

- ラック取り付け時にはブラケットを使用してください。
- オーディオケーブルとビデオケーブルには余裕を持たせてください。
- ケーブル配線時には、ケーブルの曲がり半径はケーブル径の 5 倍以上としてください。
- アラーム入出力を使用する場合は、アラームケーブルを確実に接続してください。
- ラックと機器の間を 2cm 以上空けてください。
- NVR は必ず接地してください。
- 周囲温度は 0℃～40℃としてください。
- 周囲湿度は 10%～90%としてください。

5.2 接続

5.2.1　アラーム入力の配線

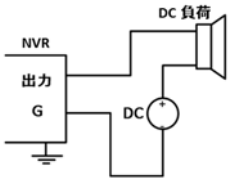
アラーム入力はオープン/クローズリレーです。アラーム端子を使用する場合は、電源投入前にアラームケーブルを確実に接続してください。

注記：アラーム入力がオープン/クローズリレーではない場合、アラーム入力と機器の間に外部リレーを接続してください。

5.2.2　アラーム出力の配線

下図を参考にして、アラーム出力(DC 負荷)に接続してください。

DC 負荷では、12V/1A 以内で使用ください。



5.2.3　アラームの接続

NVR にアラーム機器を接続する手順は以下の通りです。

① アラーム入力/アラーム出力の各端子下にあるオレンジ色の樹脂部分をマイナスドライバー等で押し込み、穴の先にある金具の空間を広げます。

② 各端子の穴にアラーム信号の線を押し込み、オレンジ色の樹脂部分の抑え込みを外して、金具の空間を狭めて、アラーム信号の線を固定します。

5.3 HDD 容量計算表

固定ビットレートで 1 時間録画する場合の 1 チャンネル当たりに必要な推定 HDD 容量を下表に示します。

注記：下記容量はあくまでも目安です。これらの容量は計算式によって推定されたもので、実際には多少の増減があります。

固定ビットレート	必要な HDD 容量
96Kbps	42MB
128Kbps	56MB
160Kbps	70MB
192Kbps	84MB
224Kbps	98MB
256Kbps	112MB
320Kbps	140MB
384Kbps	168MB
448Kbps	196MB
512Kbps	225MB
640Kbps	281MB
768Kbps	337MB
896Kbps	393MB
1024Kbps	450MB
1280Kbps	562MB
1536Kbps	675MB
1792Kbps	787MB
2048Kbps	900MB
4096Kbps	1.8GB
8192Kbps	3.6GB
16384Kbps	7.2GB

6. メニュー操作

6.1 NVR の起動

NVR を適切に起動および終了しないと、製品寿命が短くなることがありますので注意してください。以下の手順で NVR を起動します。

① 電源ケーブルがコンセントに差し込まれていることを確認します。無停電電源装置（UPS）との併用を強くおすすめいたします。

② 背面パネルの電源スイッチをオンにし、電源 LED が緑色に点灯することを確認してください。NVR が起動し始めます。NVR が起動すると、セットアップウィザードが立ち上がります。詳細は **6.5 セットアップウィザードによる簡単な基本設定** を参照ください。

注記：NVR の IPv4 アドレスの初期値は **192.168.1.64** になります。また、NVR の VGA/HDMI 解像度の初期値は **1024x768** になります。接続するディスプレイに合わせて解像度を変更してください。

6.2 NVR のアクティベーション

初回起動時は、管理者パスワードを設定して NVR をアクティベーションする必要があります。アクティベーションを行うまでは、どの操作も行うことができません。NVR のアクティベーションは、NVR を直接操作して行う以下に説明する方法のほか、NVR の LAN ネットワークインターフェイスにパソコンを接続してパソコンの Web ブラウザ経由でアクティベーションすることもできます。**7.Web ブラウザによるアクセス** を参照してください。

① **[新しいパスワード作成]**および**[新しいパスワード確認]**フィールドに同じパスワードを入力します。また、接続する IP カメラのアクティベーションパスワードも**[IP カメラアクティベーションパスワード]**に入力します。

⚠ **警告**

製品のセキュリティを高めるため、強力なパスワード(大文字、小文字、数字、特殊記号のうち、少なくとも 3 種類を混在させた 8 文字以上のパスワード)を設定するよう強くお勧めします。特に高いセキュリティが求められるシステムでは、パスワードを定期的に変更してください。毎月または毎週パスワードを変更することで、より安全に製品を保護することができます。

② [OK]をクリックしてパスワード保存し、NVR をアクティベーションします。

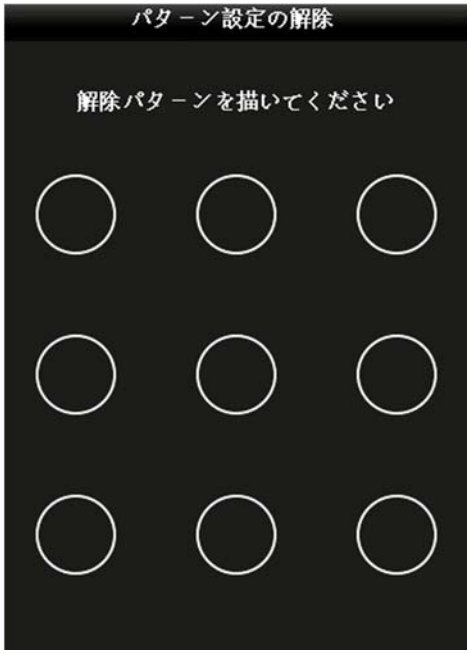
③ アクティベーション後、パスワードを適切に保つことを推奨するメッセージがポップアップ表示されます。[Yes]をクリックすると後からパスワードがリセットできるよう GUID ファイルをエクスポートすることができます。

6.3 ロック解除パターンによるログインの設定

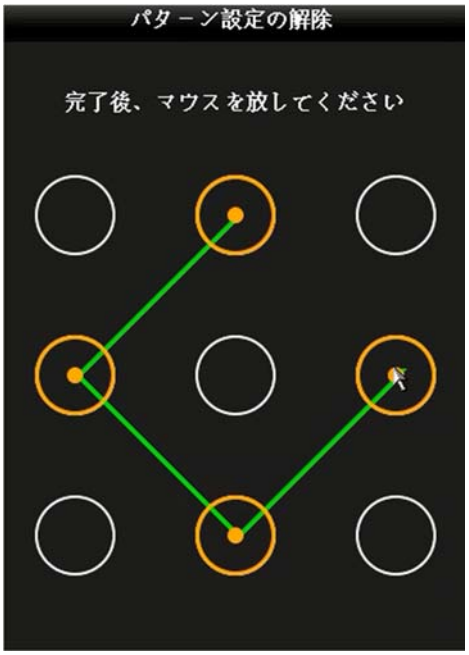
管理者ユーザーは、NVR へのログイン用ロック解除パターンを設定できます。

① アクティベーション完了後、パターン設定のインターフェイスが開き、NVR のロック解除パターンを設定できます。

② マウスを使用して画面上の 9 つのドットをつないでパターンを描いてください。パターンの最後のドットでマウスボタンを離すと、パターン指定が完了します。



パターン設定インターフェイス



ロック解除パターンの設定

注記：

- パターンを描く際は、少なくとも 4 つのドットをつないでください。
- 各ドットは一度だけつなぐことができます。

③ 同じパターンを再度描いて、確定します。パターンが一致すると、パターンが登録されます。

注記：2 つのパターンが一致しない場合、パターン設定をやり直す必要があります。

④ パターン設定後にセットアップウィザードが起動します。設定する場合は**[次に]**をクリック、設定しない場合は**[終了]**をクリックしてください。

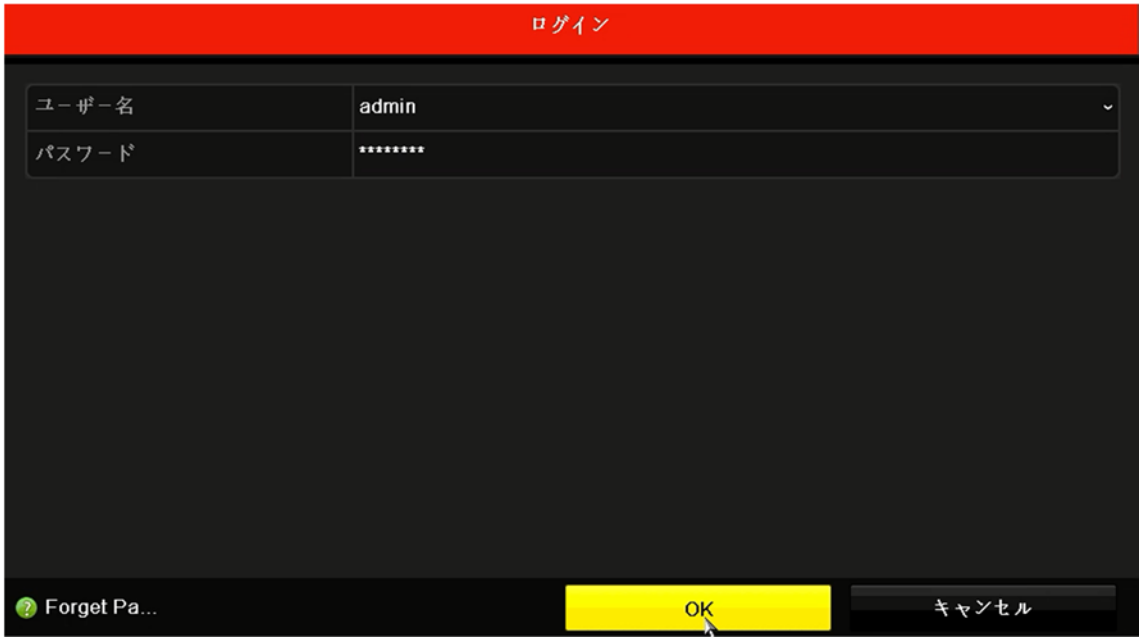
6.4 システムへのログイン

目的：

NVR からログアウトした場合、メニューやその他機能を操作する前に、再びログインする必要があります。ロック解除パターンまたはパスワード入力を選択してログインすることができます。

① 画面をマウスで右クリックしてメニュー選択します。ログイン処理をしていない場合、**ログイン**インターフェイスに移行します。

② **[ユーザー名]**リストからユーザー名を選択します。初期設定は admin です。



ログインインターフェイス画面

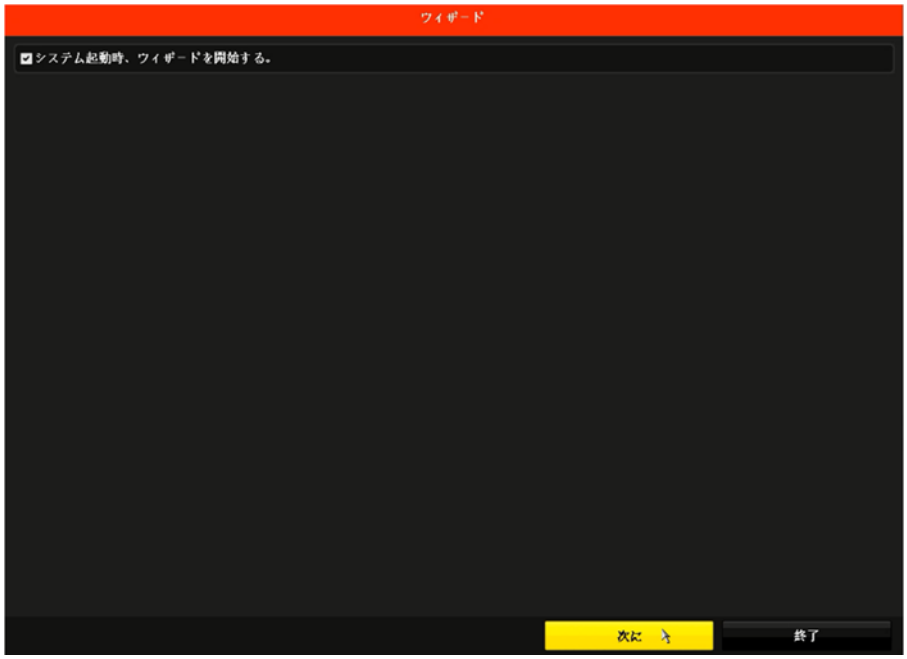
③ **[パスワード]**フィールドにパスワードを入力します。

④ **[OK]**をクリックしてログインします。

注記：間違ったパスワードを入力すると警告音とともに注意メッセージが表示されます。7 回入力ミスすると、現在のユーザーアカウントが 60 秒間ロックされます。

6.5 セットアップウィザードによる簡単な基本設定

セットアップウィザードにより、各設定を行なうことができます。デフォルト設定では、NVR が起動するたびにウィザードが立ち上がります。毎回のウィザード起動が不要な場合には、**[システム起動時、ウィザードを開始する]**チェックボックスからチェックを外してください。



[次に]をクリックし、ウィザードを続行します。セットアップウィザードのガイドに従って、パスワードの変更、日付と時刻の設定、ネットワークの設定（6.6 を参照）、HDD の初期化、IP カメラの追加（6.7 を参照）、録画（スケジュール録画・動体検知録画）の設定が可能です。

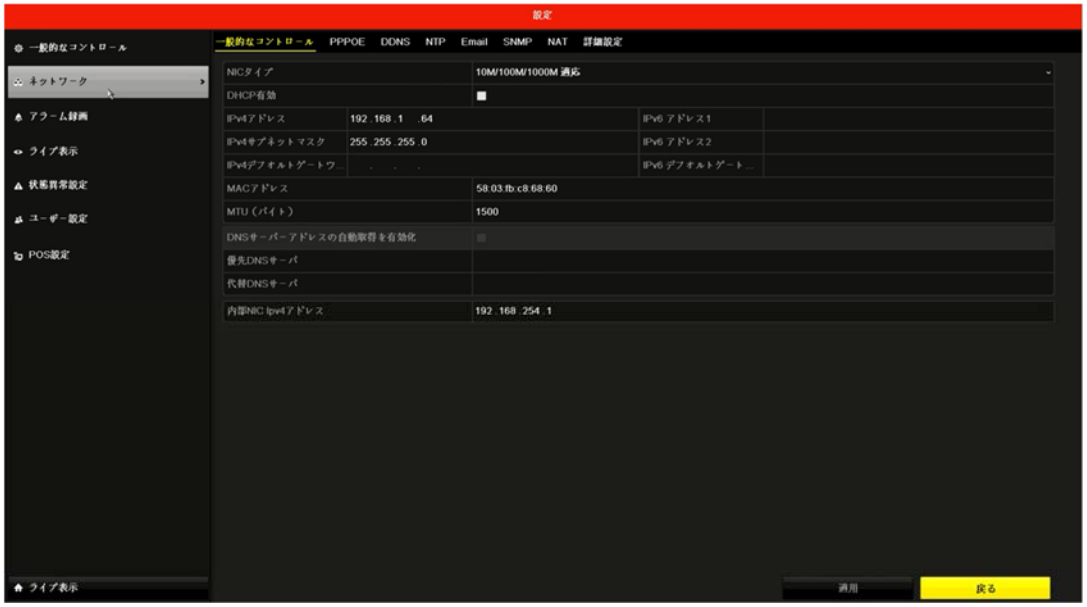
6.6 ネットワーク設定

目的：

NVR をネットワーク経由で使用するためには、ネットワーク設定を正しく設定する必要があります。

① 画面をマウス右クリックしてメニューを開き、[メニュー]>[設定]>[ネットワーク] に移動します。

② [一般的なコントロール]タブを選択します。



③ [一般的なコントロール]インターフェイスでは、NIC タイプ、IPv4 アドレス、IPv4 ゲートウェイ、MTU、および DNS サーバーを設定できます。

④ DHCP サーバーを利用できる場合、[DHCP を有効にする]チェックボックスを選択することで、サーバーの IP アドレスや他のネットワーク設定を自動的に取得できます。

⑤ 設定が完了したら、[適用]ボタンをクリックして設定保存します。

6.7 IP カメラの追加

目的：

ライブビューの表示や動画再生をするためには、事前に NVR の接続リストに IP カメラの設定が必要です。 当社 IP カメラを使用している場合、NVR のデフォルト設定 **プラグアンドプレイ** により、IP カメラの追加を手動で設定することなく、自動で IP カメラへ IP アドレスと、6.2 で設定した**[IP カメラアクティベーションパスワード]**を書き込み、使用することができます。以下の方法はプラグアンドプレイを使用しない設定方法になります。

始める前に：

ネットワーク接続が正しく確立されていて、追加する IP カメラがすでにアクティベーションされていることを確認してください。

① 画面をマウス右クリックしてメニューを開き、**[メニュー]**>**[カメラ]**>**[カメラ]**に移動します。

② 追加したい**[カメラ No]**のチェックボックスにチェックをいれ、そのカメラ No の**[編集]アイコン** をクリックして、**[IP カメラ編集]**に入ります。

③ **[メソッド追加]欄**を**[プラグアンドプレイ]**から**[手動]**に切り替えることで編集が可能になります。

④ 追加する IP カメラの IP アドレス、プロトコル（当社 IP カメラは default にしてください）、管理ポート、転送プロトコル（自動/TCP/UDP）、ユーザー名、パスワードを入力します。

⑤ [OK]をクリックし、IP カメラを追加します。

6.8 ライブビューの開始

① NVR が起動すると自動で監視カメラのライブビューインターフェイスが開きます。

② ライブビュー用ウィンドウ上でマウス左クリックをするとツールバーが表示されます。ツールバーを使って、ツールバー左側から順に、**録画開始/停止**、**簡易再生**（直近 5 分前から録画した映像を再生）、**音声のオン/オフ**、**キャプチャ**、**PTZ コントロール**（対象機種のみ）、**デジタルズーム**、**画像調整**（輝度/コントラスト/彩度）、**顔検出のオン/オフ**（対象機種のみ）、**ライブビューストラテジー**（動き重視：リアルタイム/中間：バランス/画質重視：なめらかさ）、**チャンネル情報**（fps, ビットレートのリアルタイム表示など）、**魚眼拡大**（パノラマ表示、対象機種のみ）、**3D ポジショニング**（対象機種のみ。特定したエリアをズームイン/ズームアウトする）、**メインストリーム⇔サブストリームの切り替え**（対象機種のみ）を行うことができます。でツールバーを終了します。

③ ライブビュー用ウィンドウ上でダブルクリックすると全画面に切り替わります。もう一度ダブルクリックすると分割画面に切り替わります。

④ 画面をマウス右クリックでメニューを開き、[一画面表示]で全画面表示のカメラを切り替えることができます。

⑤ マウス右クリックでメニューを開き、[分割表示]の表示レイアウトを2x2、1(大画面)+5(小画面)、1(大画面)+7(小画面)、3x3、4x4 から変更可能です。

6.8.1　デジタルズーム

デジタルズームで、ライブビュー画像を倍率 1～16 倍でズームすることができます。

① ライブビューモードで、拡大したいカメラ映像をクリックしてツールバーを表示します。

② ツールバーの [デジタルズーム]アイコンをクリックします。

③ 左上に表示されるスライドバーをマウスで動かすか、マウスホイールをスクロールすることで、画像をズームイン/アウト（倍率１～１６倍）することができます。

・スライドバーで操作した場合、画面中央でズームイン/アウトします。

・マウスホイールで操作した場合、マウスポインターのある位置でズームイン/アウトします。

④ 画面を右クリックして、もとのライブビューに戻ります。

6.8.2 パノラマ表示（魚眼画像拡張機能）

パノラマ表示（魚眼画像拡張機能）は、全方位カメラがライブビューまたは再生モードになっているときにサポートされます。

特記：

全方位カメラのみ対応しております。

① ライブビューモードで、ライブビュー映像をクリックしてツールバーを表示します。

② ツールバーの [**魚眼拡大**]アイコンをクリックすると魚眼拡張モードに入ります。

・ [**魚眼**]**アイコン**：魚眼モード

全方位カメラの広角ビューモードで表示されます。このビューモードは、魚の凸面状の目の視界に似ているため、「魚眼」と呼ばれています。広いエリアを曲面的に表示しますが、物体の角度や遠近感は湾曲します。

・ [**PTZ**]**アイコン**:PTZ クローズアップビュー

広角ビュー上の一部の定義されたエリアに対して、電子的な PTZ 機能を使用してクローズアップした平面映像を表示します。

・ [**360 度**]**アイコン**：360 度パノラマビュー

ライブビュー映像を 360 度のパノラマビューに切り替えます。

・ [**180 度**]**アイコン**：180 度パノラマビュー

ライブビュー映像を 180 度のパノラマビューに切り替えます。

6.8.3　3D ポジショニング

3D ポジショニングは、ライブビュー映像の特定のエリアへのズームインを行います。

特記：

PTZ 機能をサポートしているカメラのみ対応しております。

① ライブビューモードで、ライブビュー映像をクリックしてツールバーを表示します。

② ツールバーの [3D ポジショニング]アイコンをクリックすると 3D ポジショニングモードに入ります。

・ズームイン：ライブビュー映像の任意の位置でマウスの左ボタンを右下の方向に向けてクリックアンドドラッグして四角形の領域を描くと、その領域に対してズームインします。

6.8.4　キャプチャ

キャプチャは、ライブビュー映像をキャプチャして画像として保存を行います。

・ツールバーによるキャプチャ方法

① ライブビューモードで、ライブビュー映像をクリックしてツールバーを表示します。

② ツールバーの **[キャプチャ]**アイコンをクリックすると、クリックしたときのライブビュー映像をキャプチャします。

・連続キャプチャ設定

① 画面をマウス右クリックしてメニューを開き、**[メニュー]**＞**[手動]**＞**[連続キャプチャ]**に移動します。

② 連続キャプチャしたいカメラのチャンネル[OFF]アイコンをクリックして[ON]に切替し、[戻る]ボタンをクリックすると有効になります。

③ 常にキャプチャし続けるようになりますので、解除したい場合は、①の手順の後、カメラのチャンネル[ON]アイコンをクリックして[OFF]に切替し、[戻る]ボタンをクリックして無効にしてください。

・キャプチャ画像再生

① 画面をマウス右クリックしてメニューを開き、**[メニュー]**＞**[再生]** に移動し、画面左上のドロップダウンリストから[イメージ]を選択します。

② 次にキャプチャしたカメラにチェックを入れ、キャプチャしたファイルを検索するために検索する[開始時間][終了時間]を指定して検索するとキャプチャしたファイルの一覧が表示されます。

③ 再生アイコンをクリックするとキャプチャ画像が表示されます。

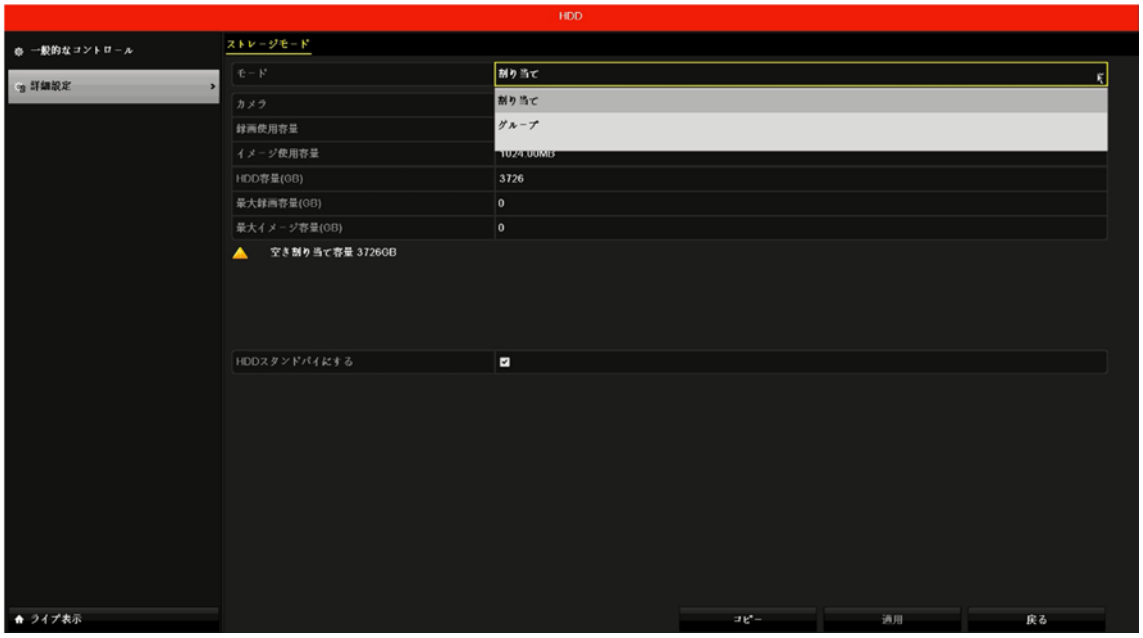
6.9 HDD 冗長化の設定

目的:

冗長化：内蔵 HDD2 つを HDD1 と HDD2 とし、HDD1 と HDD2 に同時に書き込み。HDD への冗長録画とキャプチャを有効化すると、読み書きの HDD 内だけでなく冗長 HDD 内にも録画ファイルとキャプチャ画像を保存でき、データの安全性と信頼性が向上します。**デフォルト設定では HDD 冗長ではありません。HDD 冗長を有効にするためには HDD のモードを［割り当て］から［グループ］に変更する必要があります。**

① 画面をマウス右クリックでメニューを開き、[メニュー]＞ [HDD] ＞[詳細設定]＞[ストレージモード]に移動します。

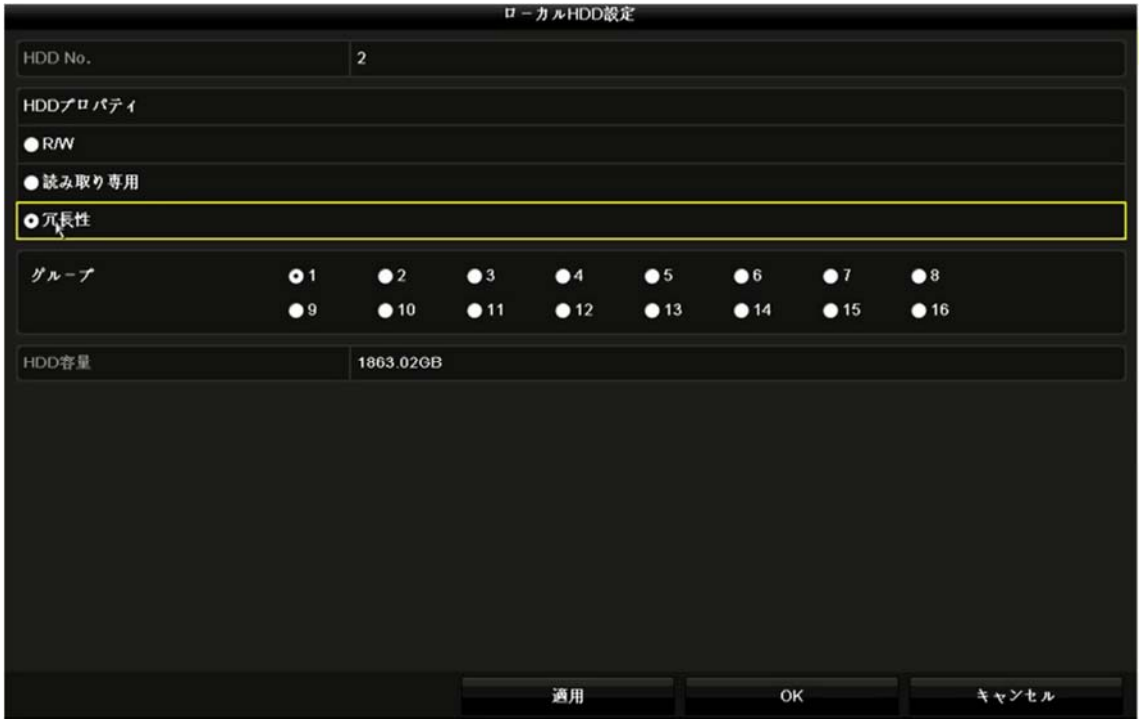
② [モード]リストを[割り当て]から[グループ]に変更し、[適用]をクリックすると[ストレージモードの変更を適用するため再起動します。続行しますか?] と表示されます。[Yes]をクリックして NVR を再起動します。



③ 再起動後、メニューを開き、[メニュー]＞ [HDD] ＞[詳細設定]＞[ストレージモード]に移動し、モードが[グループ]に変更されていることを確認してください。

④ [一般的なコントロール]＞[HDD 情報]に移動し、リストからバックアップ側HDDの[編集]をクリックして[ローカル HDD 設定]に移動します。

⑤ [HDD プロパティ]を[冗長]に設定します。[適用]をクリックして設定を保存します。[OK]をクリックすると[HDD 情報]に戻ります。冗長化したいHDDのプロパティが[冗長性]に変更されていることを確認してください。

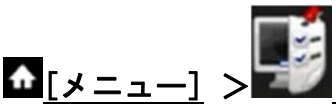


⑥ [メニュー]＞ [録画] ＞ [エンコードパラメータ] ＞ [詳細設定]に移動します。

注記：[エンコードパラメータ]はカメラ非接続時、表示されません。

⑦ [冗長録画]チェックボックスにチェックを入れてしてクリックして、[OK]をクリックして設定を保存します。

6.10　POS 機能（未サポート）

 [メニュー] ＞ [設定]に[POS 機能]という項目がありますが、本機はサポートしておりません。

特記：

POS 機能が動作しないように、デフォルト設定では[有効化]チェックボックスにチェックはついておりません。そのままチェックをつけずにご使用ください。

図：POS 設定インターフェイス

6.11 録画およびキャプチャの設定

オプション 1:ツールバーによる録画

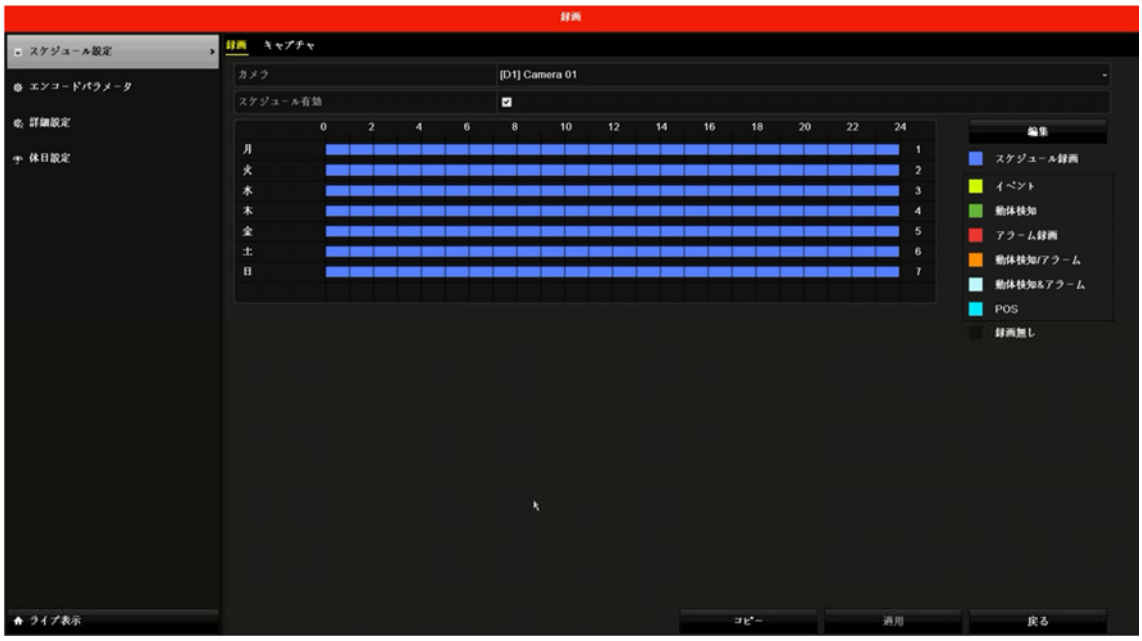
ライブビューモードでは、接続されたカメラのウィンドウを選択して、ツールバーの アイコンをクリックすると録画を開始できます。アイコンが赤色のときは録画実行中です。アイコンが灰色のときは録画停止中です。

オプション 2:スケジュール録画およびスケジュールキャプチャの設定

デフォルト設定は毎日 24 時間録画するスケジュール録画で設定されています。

① マウス右クリックでメニューを開き、[メニュー]> [録画]>[スケジュール設定] を選択し、録画画面に移動します。

② 録画のスケジュール設定をする際は画面上の**[録画]タブ**を、キャプチャのスケジュール設定をする際は画面上の**[キャプチャ]**タブをクリックしてください。



③ [カメラ]リストから録画対象とするカメラを選択します。

④ [スケジュール有効]のチェックボックスにチェックをしてください。デフォルト設定ではチェックが入った状態になっております。

⑤ [編集]ボタンを押して編集画面に移動してください。

⑥ [平日]リストから編集する曜日を選択してください。

⑦ デフォルト設定で[終日]のチェックボックスにチェックが入っており 24 時間録画になっています。時間ごとに録画方式を変更する場合、チェックボックスを外してください。外すことで時間ごとに録画方式を指定することができます。録画方式は、**スケジュール録画**、**イベント**、**動体検知**、**アラーム録画**、**動体検知/（または）アラーム**、**動体検知&アラーム**を設定できます。

⑧ [適用]をクリックして設定を保存します。

6.12 再生

HDD に録画された映像ファイルの再生方式には、インスタント再生、指定チャンネルの全日再生、および、通常/スマート/サブピリオド/外部ファイルの再生による再生があります。

① 再生したいカメラのライブビュー用ウィンドウ上でマウス右クリックし、メニューを開き、 **[再生]**をクリックして再生インターフェイスを開きます。

② リストでチャンネルのチェックボックスを選択してから、カレンダーの日付をダブルクリックで選択します。

③ 再生インターフェイスの一番下にあるツールバーで再生の進め方を制御することができます。

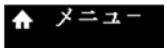
図　再生インターフェイス

④ チャンネルを選択して複数チャンネルの同時再生を実行します。**[最大再生カメラ数]**をクリックすると NVR に接続しているすべてのカメラを選択します。**[最小再生カメラ数]**をクリックすると現在選択しているカメラのみの録画を選択します。

6.13 システム操作

6.13.1 ログアウト

ログアウト後にライブビューモードになります。操作をしたい場合にはユーザー名とパスワード　もしくは　ロック解除パターンを再度入力する必要があります。

① 

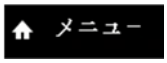
＞

＞

をクリックします。

6.13.2 NVR のシャットダウン

NVRの背面パネルの電源スイッチをオフにする際、以下のシャットダウン処理を行なってから電源スイッチをオフにしてください。

① 

＞

＞

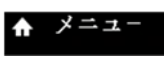
をクリックします。

② [Yes]をクリックします。

③ **[システムをシャットダウン中]**の表示後に **[電源スイッチをお切りください]**と表示されたら、背面パネルの電源スイッチをオフにします。

6.13.3 NVR の再起動

シャットダウンメニューから、NVRの再起動も可能です。

① 

＞

＞

をクリックします。

② [Yes]をクリックします。

③ [**システムを起動中**]の表示後、再起動します。

7. Web ブラウザによるアクセス

注記：インターネットアクセスを通じて製品を使用した場合、ネットワーク上のセキュリティリスクがあることをご理解ください。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、お客様ご自身での保護措置が必要です。製品が正常に動作しない場合は、販売店にお問い合わせください。

目的:

Web ブラウザ経由で NVR にアクセスします。

システム要件:

オペレーティングシステム:Microsoft Windows 7 SP1 またはそれ以上

CPU:2.0GHz またはそれ以上

ディスプレイ解像度: 解像度は 1024×768 またはそれ以上

Web ブラウザ: Internet Explorer 11 以降のバージョン

① パソコンの有線 LAN ポートと NVR の LAN ネットワークインターフェイスを接続します。

② パソコン上で Web ブラウザを開き、Web ブラウザのアドレスバーに NVR の IP アドレスを入力して Enter を押します。NVR の IPv4 アドレスの初期値は 192.168.1.64 になります。

③ NVR にログインします。

- 機器がアクティベーションされていない場合、ログインする前にまずアクティベーションする必要があります。

1) 管理者ユーザーアカウントのパスワードを設定するため、**[パスワード]**および**[確認]**フィールドに同じパスワードを入力し、**[OK]**をクリックします。

警告

強力なパスワード推奨 - 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード(最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む)を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

2) パスワードを忘れた場合、パスワードをリセットすることができるように、秘密の質問を設定することができます。３つ設定する必要があるため、不要であれば**[キャンセル]**をクリックすることで設定をパスできます。

3) 後からパスワードがリセットできるよう GUID ファイルをエクスポートすることができます。エクスポートする場合は**[エクスポート]**をクリックします。

- すでにアクティベーションが完了している場合、ログインインターフェイスにユーザー名とパスワードを入力し、[**ログイン**] ボタンをクリックします。

④ ライブビュー表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。インストールの指示に従い、プラグインをインストールします。

注記：プラグインのインストールを完了するためには、Web ブラウザの再起動が必要な場合があります。

⑤ ログイン後に Web ブラウザ経由で NVR に接続した監視カメラのライブビュー、再生、録画および NVR の各種設定などの操作を行うことができます。

8. 主な仕様

型　　名	YC-R162C

入力	カメラ入力	16 ch
	入力帯域	最大 160 Mbps
	出力帯域	最大 256 Mbps
出力	HDMI 出力解像度	4K (3840×2160)/60Hz 4K (3840×2160)/30Hz 2K (2560×1440)/60Hz 1920×1080p/60Hz、1600×1200/60Hz 1280×1024/60Hz、1280× 720/60Hz 1024× 768/60Hz
	VGA 出力解像度	1920×1080/60Hz、1280×1024/60Hz 1280× 720/60Hz、1024× 768/60Hz
その他	録画画素数	最大 1200 万画素
	圧縮方式	H.265+/H.265/H.264+/H.264/MPEG4
	同時再生	2ch－12MP (20fps) 4ch－8MP (25fps) 8ch—4MP (30fps) 16ch－1080P (30fps)
	対応 プロトコル	TCP/IP, DHCP, DNS, DDNS, NTP, SADP, SMTP, UPnP, HTTPS
	インターフェイス	RJ45 10M/100M/1000Mbps Ethernet : 1 100Mbps PoE Ethernet : 16 USB 2.0 : 1 , USB 3.0 : 1

HDD	SATA	2
	ハードディスク	12TB ≪6TB×2（冗長化対応）≫
基本	電源	AC 100V
	PoE	（IEEE802.3af/at 対応）給電ポート 16 口 （合計 200 W 以下）
	使用温度環境	0℃～40℃
	使用湿度環境	10% ～ 90%
	消費電力(最大)	280 W
	サイズ	約 385×315×52mm（背面の突起物含まず）
	重量	約 4.1 kg

9.　保証とアフターサービス

保証書について

- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
  お買い上げの日から２年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品を、製品の代替品にて対応させて頂く場合があります。
  代替品とは、その製品と同等性能を保有する製品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、または、お問い合せ窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

＜保証期間中＞

- 修理、交換に際しましては保証書をご提示ください。
  保証書の規定に従って販売店が対応させていただきます。
- 異常があるときは使用をやめて、お買い上げの販売店にこの製品をお持込のうえ、修理をお申しつけいただくか、〔修理ご相談窓口〕に記載の窓口にお問い合わせください。ご自分での修理はしないでください。

＜保証期間が過ぎているときは＞

- ご希望により有償で修理させていただきます。但し、交換修理のため、部品が手に入らない場合等、ご希望に添えない場合があります。

＜便利メモ＞

お客様へ・・・

お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　　月　　日	電話（　　）　　ー

10. 製品保証書

持込修理

（保証書は、お買い上げいただいた商品に同梱されている
取扱説明書に記載されています。）

<無料修理規定>

１．　取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書にしたがい無料修理いたします。
なお、修理の取り外し・再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。
また、取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

２．保証期間内でも、次の場合には有料交換となります

(イ) 本書のご提示がない場合。

(ロ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

(ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造など、取扱説明書やそれに類する書面にて弊社が禁止している事項に抵触したことで発生した故障・損傷。

(ニ) お買い上げ後の、転居等による取付場所の移設、輸送、落下などによる故障・損傷。

(ホ) 火災・公害・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・落雷・突風・風水害・塩害・ガス害（硫化ガス等）その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。

(ヘ) 設置・施工上の不備に起因する故障や不具合の場合。

(ト) お客様の使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合。(例:ホコリ、錆、カビ、小動物の侵入・糞尿・損傷)

(チ) 寿命部品や消耗品の自然消耗、摩耗、劣化などにより部品の交換が必要な場合。（例：電池やファンの交換等）

(リ) 電池の液漏れ、または、指定規格外の電池の使用による故障・損傷。
(ヌ) 本製品に接続している機器、ケーブルおよび消耗品に起因する本製品の故障・損傷
３．本書に基づき製品修理を行った製品の保証期間は、最初のご購入時の保証期間が適応されます。
４．お買い上げの製品が故障により使用できなかったことによる損害については補償いたしません。
５．記録媒体を使用または搭載する製品で、故障時または製品交換により記録内容が消失する等の場合がありますが、記録内容およびこれによる二次被害についての補償はいたしかねます。
６．本書は日本国内においてのみ有効です。
★本保証書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

11. お問い合わせ窓口

修理のご相談など
〔修理ご相談窓口〕（沖縄地区を除く）
シャープマーケティングジャパン株式会社

0570-006-008

全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
携帯電話からもご利用いただけます。
〔受付時間〕月曜～土曜：9:00～17:40
（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

PHS・IP 電話をご利用の方は…

043-332-9957（東日本）
06-6794-9677（西日本）

※本資料は予告なく変更になることがあります。

シャープ株式会社

本社
〒590-8522　大阪府堺市堺区匠町 1 番地

先進設備開発本部
〒581-8581　大阪府八尾市跡部本町 4 丁目 1 番 33 号

YCR162CQSG1811R001